

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 7 年 7 月		工事概要	施工延長 L=67.1m	
契約番号	2025000660			管布設工 (PRP φ 250) L=67.1m	
路線名				既設管撤去工 (φ 250) L=67.1m	
工事等名	原町区公共下水道污水管渠布設替 (錦町一丁目地区) 工事			土工 一式	
				仮設工 一式	
工事等場所	南相馬市 原町区錦町一丁目 地内		取付管工 一式		
総工事費	当初請負		仕様概要	付帯工 一式	
	当初設計			安全費 一式	
	変更請負				
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2025000660)		
原町区公共下水道污水管渠布設替(錦町一丁目地区)工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
管布設工		
取付管		
付帯工		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

原町区公共下水道污水管渠布設替(錦町一丁目地区)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には ☒ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲：予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☒ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

特記仕様書

工 事 名：原町区公共下水道汚水管渠布設替（錦町一丁目地区）工事

工事施工箇所：南相馬市原町区錦町一丁目 地内

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和 7 年 6 月 1 日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、☒としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第4章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・第5章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
- ・第6章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）
- ・第7章 週休2日確保モデル工事等
- ・第8章 建設キャリアアップシステム活用工事
- ・第9章 ふくしまME資格取得者の現場活用
- ・第23章 法定外の労災保険の付保
- ・第24章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第25章 再生資源利用計画書
- ・第26章 再生資源利用促進計画書
- ・第29章 その他

3 第2章～第6章、第15章～第22章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

※ 福島県ホームページ＞組織でさがす＞技術管理課＞特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
平面図・縦断図・標準断面図	1	1	
各種標準構造図	2	1	
計	全2葉		

- 6 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。
- 7 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。
- 8 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

南相馬市

☒第1章 一般共通事項

- ☐1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡を取り、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|--------------|----------------------------|---|---------------------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 5) その他 () | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |

☒2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- ☐3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐有 ・ ☒無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

☐4 河道掘削に伴う工事測量

河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。

☐第2章 フレックス工事

(詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。

☐第3章 準備期間確保工事

(詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（〇〇日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。

第4章 情報共有システム、遠隔臨場

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと)

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

第5章 労働者確保に関する積算方法の試行工事

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと)

□1 労働者確保に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____％

現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____％

□2 労働者確保及び労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保及び労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舎の維持・補修に要する費用）の割合：_____％

現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____％

第6章 快適トイレの設置

（本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。

設置の可否については、現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。

第7章 週休2日確保モデル工事等

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」に定める工事のうち、☒としている箇所の対象工事である。

☒「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☒月単位 ☐通 期

☐「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」 ☐月単位 ☐通 期

☐「完全週休2日モデル工事（発注者指定型）」

なお、「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「月単位の4週8休以上」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第8章 建設キャリアアップシステム活用工事

（本章はすべての工事に該当する）

- 1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。

- 2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

（※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照）

第9章 ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

☒ 第10章 総 則

☒ 1 施工計画書

工程管理はバーチャート又はネットワークにより行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」
（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

☐ 2 工事用地等の使用

☐ 1） _____ 作業に係るヤードとして、別添「 _____ 図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

☐ 2） 使用にあたっての条件、制限等

☐ 3 近接工事：無し

1）工 事 名：

2）施工箇所：

4）注意・指示事項： _____

☐ 4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目： _____ 数量： _____

引渡時期： _____

引渡場所： _____

☐ 5 工事現場発生品

1）工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目： _____

引渡時期： _____

引渡場所： _____

2）従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

☒ 6 建設副産物処理

☐ 1）下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

- ☑ 2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト合材	(再資源化・ 中間 ・最終)施設へ搬入	加藤道路(株)
鉄筋コンクリート殻	(再資源化・ 中間 ・最終)施設へ搬入	加藤建材工業(株)
廃プラスチック類	(再資源化・ 中間 ・最終)施設へ搬入	斎藤運輸工業(株) 原町リサイクルセンター
汚泥	(再資源化・ 中間 ・最終)施設へ搬入	(株)モンマ
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	

※ 積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□ 7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
①竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	☐ 有 ・ ☐ 無	・対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
②不可視部の工事 (工種)で2)に 示すもの	☐ 有 ・ ☐ 無	・不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2)に示す工事 (工種)
③工期が1年以上 となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・協議による。	
④その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3)に示す工事 (工種)

注1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) ②不可視部の工事（工種）とは次のものとする。

□杭基礎、□場所打杭、□深礎杭、□ケーソン基礎、□地盤改良

- ☐捨石均し、☐被覆・根固め均し、☐井筒潜函基礎、☐山腹基礎床掘
☐上層路盤（1,000m²以上の工事）
☐現場打ちのボックスカルバート、擁壁（鉄筋 Co）
☐橋台・橋脚、☐現場制作 P C 橋、☐床版
☐水門・樋門
☐ブロック製作、ケーソン製作
☐覆工 Co の前段工事
☐その他【 】

3) ④その他、発注者が必要とする工種（工事）とは次のものとする。

- ☐桁の仮組立
- ☐水門扉、☐可動堰、☐スノーシェッド、☐ポンプ施設、☐除塵機、☐栈橋
- ☐堰堤（Co、盛土）
- ☐堰（工場制作）、ラバーダム
- ☐地盤変動等の影響が予想される掘削
- ☐仮橋、路面覆工（一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの）
- ☐仮堤防（本堤防と同等の機能を求める仮堤防）
- ☐その他【 】

☒ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備 考
資材検収（寸法、数量等）	各種資材	検収時	
土留設置（深さ、幅、建込状況）	スパンにつき 1 箇所	土留設置完了時	
土工・掘削（深さ、幅、床付け状況）	スパンにつき 1 箇所	掘削完了時	
基礎工・砕石基礎（厚さ、幅）	スパンにつき 1 箇所	砕石基礎完了時	
本管布設工（管底高、中心線の偏位）	スパンにつき 1 箇所	本管布設完了時	
取付管布設工（支管取付状況）	スパンにつき 1 箇所	取付管布設完了時	
土工・埋戻（基準高（下がり）、幅）	スパンにつき 1 箇所		
下層路盤工 （基準高（下がり）、厚さ、幅）	スパンにつき 1 箇所	下層路盤完了時	
上層路盤工 （基準高（下がり）、厚さ、幅）	スパンにつき 1 箇所	上層路盤完了時	
マンホール設置工 （深さ、天端高、可とう継手取付状況）	マンホール毎	マンホール設置完了時	
本管カメラ調査	全スパン	工事完成時	

☒ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

☒ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所
本管布設工	管底高、中心線の偏位	本管 1 本につき 1 回	

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

☑ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度
取付管布設工	支管取付状況	1箇所につき1回	1箇所毎
取付管布設工	取付管布設状況	1箇所につき1回	1箇所毎
取付管布設工	管延長測定状況	1箇所につき1回	1箇所毎

□ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢28日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要

☑ 11 用地取得及び支障物件

□ 1) 工事区域内の用地確保 (□ 済 ・ □ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 年 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

☑ 2) 工事支障物件： □ 有 ・ ☑ 無

【支障物件移転予定時期】 年 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

☑ 12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、当月末に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☑ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は起終点に 2人 配置するものとし、取付管施工時を含め 24人 を配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☒ 14 作業工程

- 1) 全ての作業は、昼間作業とし、時間帯は 8 時～ 17 時までとする。
- 2) 現道の使用規制について
現道は、片側交互通行により本工事を施工するものとする

☒ 15 仮設

- ☒
- 1) 指定仮設の有無
- ☒
- 有

☒ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考
建込簡易土留	H = 2.00m	各種標準構造図	

- ☐
- 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名：_____ 数量等：_____

存置期間：_____

☐ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する
内容から選択して実施すること。

計上 費目	実施する 項目数	実施する内容 (率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	① 用水・電力等の供給設備 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	① 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舍の快適化 ③ デザインボックス(交通誘導警備員待機室) ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	① 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) ② 盗難防止対策(警報器等) ③ 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	()	① 完成予想図 ② 工法説明図 ③ 工事工程表 ④ デザイン工事看板(各工事PR看板含む) ⑤ 見学会等の開催(イベント等の実施含む) ⑥ 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 ⑦ パンフレット・工法説明ビデオ ⑧ 地域対策費(地域行事等の経費を含む) ⑨ 社会貢献

☒ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基 設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

☑第11章 材 料

☑1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□ 1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

☑2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考
再生骨材	RC-40	基礎工、埋戻材、路盤工	
再生アスファルト材	細粒度 As13	表層工	

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□ 2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

※ 備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

- 3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

☑第12章 一般施工

☑1 建設発生土の処理

- 1) 他工事への流用: ☒ 無

工事名: _____ 路河川名: _____

施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬距離 _____ km

☑2) 発生処理 (116.3m³)

受入場所: 南相馬市鹿島区南右田 字二ツ沼 地内

運搬距離 8.1 km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法(開発許可)、森林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法(改正宅地造成等規制法)などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□ 2 他工事からの流用土

- 1) 他工事からの流用: ☒ 無

① 工事名: _____ 路河川名: _____

② 指定・施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

③ 運搬の有無: ☐ 有 ・ ☐ 無 (_____ km)

④ 品 質: _____

品質の確認試験（ ）については、 で実施

□3 レディーミクストコンクリートの養生

- 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	☐ 普通ポルトランドセメント
	☒ 高炉セメントB種 ¹⁾ ☐ 混合セメントB種 ☐ フライアッシュセメントB種 ☐ シリカセメントB種
	☐ 早強ポルトランドセメント
気象条件	☐ 暑中コンクリート(日平均気温が25℃を超える場合)
	☐ 寒中コンクリート(日平均気温が4℃以下になる場合) 構造物の露出状態 ☐ 連続して、あるいはしばしば 水で飽和される部分²⁾ ☐ 普通の露出状態

- 1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

- 2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される

□第13章 その他施工

□1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島

県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

□4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄
第1種、第2種	3,000 以上	3,000	
第3種第1級及び第2級	3,000 未満	1,500	
第4種第1級			
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

□5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が50万円以上となる工事の場合に記載

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。
また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

□6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第14章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のレ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□1 工事を行う基本方針（指針P13）

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ☐① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ☐② 右利き、左利きに対応した施設
- ☐③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ☐④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ☐⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ☐⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ☐⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ☐⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ☐⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ☐⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ☐⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ☐⑫ プライバシーに配慮された施設
- ☐⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ☐⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ☐① 使い方を直感的に理解できる施設
- ☐② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ☐③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ☐① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ☐② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ☐③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ☐④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ☐⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ☐⑥ 危険な部分が防護されている施設
- ☐⑦ 四季を通じて安全な施設
- ☐⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針4 さりげなく 美しい 施設

- ☐① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ☐③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ☐④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ☐① できる限り同じ手段で利用できる施設
- ☐② 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ☐③ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ☐④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ☐⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

□2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

□第15章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
・道路構造物の記録保存資料
- 2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
・道路舗装構成等の記録保存資料

□第16章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□第17章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、△△工区（施工箇所○○）、
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）
（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所○○）とする。）

□第18章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第19章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事の発注方式は（ □受注者希望型 ・ □発注者指定型 ）である。
- 2 ICT活用工事（土工）
本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工）」の対象工事である。
- 3 ICT活用工事（舗装工）
本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（舗装工）」の対象工事

である。

□4 ICT活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（浚渫工（港湾）」の対象工事である。

□5 ICT活用工事（土工1,000m³未満）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（土工1,000m³未満）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工1,000m³未満）」の対象工事である。

□6 ICT活用工事（小規模土工）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（小規模土工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（小規模土工）」の対象工事である。

☑第20章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

□第21章 「総合評価方式（標準型・簡易型）における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

☑第22章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。
- 2 猛暑による作業不能日数
本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。
 - i) 作業不能日数：7日間
 - ii) 上記i)は、環境省が公表する東北地方福島（相馬）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分（令和2年～6年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3日）を除く。）において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したもの5年分を平均したものの。
 - iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方福島（相馬）地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））がi)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議すること

ができる。

第 2 3 章 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第 2 4 章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度 5 弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度 5 弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度 4 の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ 2 名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2 次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、FAX 又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後 1 時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度 5 弱以上の地震時

地震発生後 1 時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

(別紙様式)

〇〇〇建設事務所 〇〇〇部 〇〇課 〇〇〇 行 (FAX:024-〇〇〇-〇〇〇〇)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	工第〇〇－４１３００－〇〇〇〇号 〇〇〇〇〇〇〇〇工事	
場 所	市	地内
請負者	〇〇〇〇〇(株)	
現場代理人	〇〇〇〇	
点検日時 (24時間表示)	開 始	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
	終 了	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分
点検項目	異常の有無	
○現場内の状況		
・法面の崩壊	無し	
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)	
・法面からの湧水	無し	
・路面の陥没	無し	
・仮設の設置状況	無し	
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し	
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し	
・河川、水路の水位の上昇状況	無し	
・土石流の発生	無し	
・地すべりの発生	無し	
○現場周辺の状況		
・法面の状況	無し	
・路面の状況	無し	
・流末排水の状況	無し	
・雨量計の読み取り	000 mm	
・土石流危険渓流の状況	無し	
・砂防指定地の状況	無し	
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し	
・地すべり危険区域の状況	無し	
・その他異常の有無	無し	
処置内容		
・No. 0～No. 10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。		

第25章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第26章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

- 1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

- 2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書（※技術管理課ホームページ参照）の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。（※試行要領は技術管理課ホームページ参照）
- 4 受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

□第27章 三者協議

本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。

□第28章 国土強靱化事業の取組に関する広報

本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。

記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事
令和○年○月○日まで 時間帯○:○○～○:○○
河川(交付)工事(開削)
発注者 福島県○○建設事務所 ○○課 施工者 ○○○○建設株式会社 電話 ○○-○○○○-○○○○

※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

☑第29章 そ の 他

- ・計画縦断については、工事着手前に傾斜測定工を実施し、布設替勾配を決定する。なお、傾斜測定工にかかる費用は、共通仮設費の技術管理費に積上げ計上している。
- ・工事完成後に本管カメラ調査を監督員立会のもと実施し、本管内部及び取付管接続部の状況について動画及び写真撮影を行い、適正に施工されていること確認し、発注者へ調査報告書を提出すること。なお、本管カメラ調査にかかる費用は、共通仮設費の技術管理費に積上げ計上している。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	00 市 町 村 実施設計書 当初 00000000000 0 1 実施単価 71 S (相双 1) 地区 00-07.06.15(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 土木工事 00000000000当初 R 7原町区公共下水道污水管渠布設替 (錦町一丁目地区) 工事		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正	50 23 下水道 (2) 00 冬期割増なし 01 金銭的保证 06 (土木)一般交通影響有り 2 00 必要無し 02 4週8休以上 (月単位)		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計 1
	3	作業日数集計 2
	4	作業日数集計 3
	5	作業日数集計 4
	6	作業日数集計 5

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
原町区公共下水道汚水管渠布設替					X1000
管布設工	1.0	式			Y1940 工種 第0001号表
取付管	1.0	式			Y1940 工種 第0008号表
付帯工	1.0	式			Y1945 工種 第0010号表
直接工事費					
運搬費		式			Z0004
仮設材の運搬費 運搬質量 12 t 運搬距離(片道) 70km	1.0	式			S0070 00 施工 第0 -0030号表
仮設材等の積込み、取卸し費 積込み取卸し(往復分)	12.0	t			S0072 00 施工 第0 -0031号表
準備費		式			Z0003
高圧洗浄車清掃工 φ 250mm以下 土砂深10%	67.1	m			V6004 00 施工 第0 -0032号表
安全費		式			Z0008
工事名標示板加算額	2.0	基			S9990 00 施工 第0 -0036号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
役務費					Z0005
		式			
仮設商用電源引込手数料 200Vのみ	1.0	ヶ所			W6000
仮設商用電源引込柱設置費	1.0	ヶ所			W7000
トランス設置	1.0	ヶ所			W8000
技術管理費		式			Z0006
傾斜測定工 φ200以上φ800未満 下水道管路管理積算資料	67.1	m			V0002 00 施工 第0 -0037号表
報告書作成工（傾斜測定工） φ200以上φ800未満 下水道管路管理積算資料	67.1	m			V0003 00 施工 第0 -0038号表
本管カメラ調査 φ200以上φ800未満 下水道管路管理積算資料	67.1	m			V0001 00 施工 第0 -0039号表
営繕費		式			Z0007
工事名標示板 1100×1600 枠付 カプセル反射(オレンジ)	2.0	台			T9941 00
共通仮設費（率）		式			Z0009
共通仮設費計					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費						
			式			
工事原価						
一般管理費						
			式			
工事価格						
工事価格	(まるめ)					
消費税等相当額						
			式			
工事費計						

工 種 明 細 表

頁0-0005

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管布設工 Y1940					工種 第0001号表
リブ付硬質塩化ビニル管(φ250)					Y2114
	1.0	式			工種 第0002号表
管布設工					Y2941
	1.0	式			工種 第0003号表
土工(BH0.20)					Y2384
	1.0	式			工種 第0004号表
管路土留工					Y2393
	1.0	式			工種 第0005号表
水替工					Y2941
	1.0	式			工種 第0006号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
リブ付硬質塩化ビニル管(φ250) Y2114					工種 第0002号表
リブ用可とうマンホール接手(貼付型) φ250 農林土木事業原単価表 P Z 8983	4.0	個			F0001 00 070615
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
管布設工 Y2941					工種 第0003号表
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 250mm S0(20m以上)	67.1	m			SG702 00 070615 施工 第0 -0001号表
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0006

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工(BH0.20) Y2384					工種 第0004号表
機械掘削工(バックホウ) 加-ラ型 山0.28m3(平0.2m3)	116.3	m3			SG002 00 070615 施工 第0 -0002号表
砕石基礎工(再生砕石) 機械投入 管上30cmまで	63.4	m3			V0246 00 070615 施工 第0 -0004号表
埋戻工(再生砕石) 0.20BH タンパー	63.4	m3			V0390 00 070615 施工 第0 -0006号表
発生土運搬工(4 t 積級、機械積込み) 運搬距離 L=8.1km バックホウ 加-ラ型 山0.28m3(平0.2m3)	116.3	m3			SG017 00 070615 施工 第0 -0009号表
整地 残土受入れ地での処理	116.3	m3			SPA109 00 070615 施工 第0 -0011号表
*** 単位当たり ***	1	式			

管路土留工 Y2393					工種 第0005号表
建込簡易土留工 建込・引抜(H=2.0m)	68.9	m			V0901 00 070615 施工 第0 -0012号表
建込み簡易土留工(賃料) 整備費込	1	式			W0003
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0007

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水替工 Y2941					工種 第0006号表
汚水水替工					Y3555
	1.0	式			工種 第0007号表
*** 単位当たり ***	1	式			
*****					*****
汚水水替工 Y3555					工種 第0007号表
汚水ポンプ運転工 常時排水 管路部	5.0	日			V2110 00 070615 施工 第0 -0015号表
ポンプ運転工 据付・撤去工	2.0	現場			SG081 00 070615 施工 第0 -0016号表
汚水ポンプ運転工 常時排水 宅地部	5.0	日			V2115 00 070615 施工 第0 -0017号表
ポンプ運転工 据付・撤去工	3.0	現場			SG081 00 070615 施工 第0 -0016号表
止水プラグマルチタイプ 円形管 φ200～400mm用	5.0	日			F0006 00 070615
ビニールサクシオンホースφ100mm 建設物価2025.7号	67.1	m			F0007 00 070615
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0008

[illegible]

000000000000

南 相 馬 市

金抜き

工 種 明 細 表

頁0-0009

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
付帯工 Y1945					工種 第0010号表
既設管撤去工					Y2944
	1.0	式			工種 第0011号表
廃材運搬処理工					Y2944
	1.0	式			工種 第0012号表
仮復旧					Y2944
	1.0	式			工種 第0013号表
本復旧					Y2944
	1.0	式			工種 第0014号表
安全費					Y2019
交通誘導員					Y3193
交通誘導警備員 B [0.908]					R0900 00 070615
	24.0	人			
*** 単位当たり ***					
	1	式			
*****					*****
既設管撤去工 Y2944					工種 第0011号表
鉄筋コンクリート管撤去工 φ250					V1201 00 070615
	67.1	m			施工 第0 -0018号表
取付管撤去工 硬質塩化ビニル管 φ150mm					V4602 00 070615
	1.5	m			施工 第0 -0019号表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0010

[illegible]

工 種 明 細 表

頁0-0011

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮復旧 Y2944					工種 第0013号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	137.8	m			SPD321 00 070615 施工 第0 -0022号表
側溝清掃車運搬 運搬距離 6.9km	1.0	m3			S5200 00 070615 施工 第0 -0023号表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	68.9	m2			SPD311 00 070615 施工 第0 -0025号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚100mm 1層施工	68.9	m2			SPD006 00 070615 施工 第0 -0026号表
表層（歩道部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚30mm	68.9	m2			SPD027 00 070615 施工 第0 -0027号表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	2.1	m3			SPA961 00 070615 施工 第0 -0028号表
* 調整データ *		調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
産廃処分費（AS殻）	4.9	t			W4000
汚泥処分費（切断排水）	1.5	t			W5000
*** 単位当たり ***	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0012

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本復旧 Y2944					工種 第0014号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	5.4	m			SPD321 00 070615 施工 第0 -0022号表
側溝清掃車運搬 運搬距離 6.9km	0.04	m3			S5200 00 070615 施工 第0 -0023号表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	186.0	m2			SPD311 00 070615 施工 第0 -0025号表
不陸整正 補足材料なし	186.0	m2			SPD001 00 070615 施工 第0 -0029号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚100mm 1層施工	186.0	m2			SPD006 00 070615 施工 第0 -0026号表
表層（歩道部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚30mm	186.0	m2			SPD027 00 070615 施工 第0 -0027号表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	5.6	m3			SPA961 00 070615 施工 第0 -0028号表
調整データ		調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
産廃処分費（AS殻）	13.1	t			W4000
汚泥処分費（切断排水）	0.06	t			W5000
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0013

[illegible]

0000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械掘削工（バックホウ） SG002 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3）	100	m3			施工 第0 -0002号表
土木一般世話役 [0.775]	1.900	人			R0010
普通作業員 [0.828]	5.000	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 ｸﾛｰﾗ型 山 0 . 2 8 m3（平積 0 . 2 m3）	11.100	h			S8020 施工 第0-0003号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3） B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 5					

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0015

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ運転 S8020 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	1	h			施工 第0 -0003号表
運転手 (特殊) [0.778]	0.170	人			R0120
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	5.900	L			T0250
バックホウ (クローラ型) [標準型] 山積 0 . 2 8 m3 平積 0 . 2 m3 排ガス型 (第 2 次基準値)	1.000	h			MOBA1
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	h			
A=1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3) B=1 補正なし C=3 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 使用					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
砕石基礎工 (再生砕石) V0246 機械投入 管上30cmまで	1	m3			施工 第0 -0004号表 特単単価適用日 : 07年06月15日
砕石基礎工 機械施工 S0(10m3以上)	1	m3			SG704 施工 第0-0005号表
再生骨材 (骨材) クラッシュラン R C - 4 0	1.20	m 3			T8454
*** 単位当たり ***	1	m3			

000000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0016

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砕石基礎工 SG704 機械施工 S0(10m3以上)	1	m3			施工 第0 -0005号表
砕石基礎設置 手間のみ 機械施工 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1.000	m 3			TGD12
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 機械施工 B=2 S0(10m3以上) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 2					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
埋戻工（再生砕石） V0390 タンパー	0.20BH 100	m3			施工 第0 -0006号表 特単単価適用日：07年06月15日
機械投入埋戻工（バックホウ） 70-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	100	m3			SG012 施工 第0-0007号表
再生骨材（骨材）クラッシャー R C - 4 0	120	m 3			T8454
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

000000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0017

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械投入埋戻工（バックホウ） SG012 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3）	100	m3			施工 第0 -0007号表
土木一般世話役 [0.775]	2.500	人			R0010
普通作業員 [0.828]	3.800	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 ｸﾛｰﾗ型 山 0 . 2 8 m3（平積 0 . 2 m3）	7.600	h			S8020 施工 第0-0003号表
タンバ締固め	100.000	m3			SPA185 施工 第0-0008号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m3（平0.2m3） B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 0					

000000000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0018

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
タンパ締固め SPA185 標準単価： 1,564.3 機械構成比： 1.24% 労務構成比： 97.05% 材料構成比： 1.71% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0008号表 1 m3	
K2620 タンパ及びランマ 6 0 ~ 8 0 kg		1.24%	TPK2620 タンパ賃料	
R0020 特殊作業員 [0.769]		51.22%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		45.83%	TPR0030 普通作業員	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		1.71%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 全ての費用 B=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 1 4				

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0019

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬工 (4 t 積級、機械積込み) SG017 運搬距離 L = 8.1km バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3)	10	m3			施工 第0 -0009号表
ダンプトラック運転 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル 4 t 積級	0.800	日			SK506 施工 第0-0010号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=8.1 運搬距離 (km) B=1 ダンプトラック 4 t 積級 C=2 バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3) D=2 D I D 区間有り E=1 良 好					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 3					

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0020

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 SK506 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル 4 t 積級	1	日			施工 第0 -0010号表
運転手（一般） [0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	32.000	L			T0250
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	1.290	供用日			MA302
ダンプトラックタイヤ損耗 4 t 路面状況 良好 【 損料表 】	1.290	供用日			K1013
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 オンロード・ディーゼル 4 t 積級 B=1 補正なし C=1 タイヤの損耗状態 良好 D=1 運転労務数量 E=32 燃料消費量					
F=1.29 機械損料数量					

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0021

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
整地 SPA109 残土受入れ地での処理 標準単価： 123.38 機械構成比： 23.13% 労務構成比： 51.64% 材料構成比： 25.23% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0011号表 1	m3
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3) K9203		23.13%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
運転手 (特殊) R0120 [0.778]		51.64%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 T0250 ミニローリー (パトロール給油)		25.23%	軽油 TPT0250 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 残土受入れ地での処理 D=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 2 0				

施 工 内 訳 表

頁0-0022

[illegible]

000000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0023

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 建込工 SG035 2 . 0 m以下	10	m			施工 第0 -0013号表
土木一般世話役 [0.775]	0.200	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.200	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.400	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	1.100	h			S8020 施工 第0-0003号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 B=1 2 . 0 m以下 下水道標準歩掛 第 1 巻 A - 1 - 2 7					

000000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0024

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 引抜工 SG036 2 . 0 m以下	10	m			施工 第0 -0014号表
土木一般世話役 [0.775]	0.120	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.120	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.230	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ｼﾌﾞ型 4.9t吊	0.120	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 B=1 2 . 0 m以下 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 7					

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0025

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
汚水ポンプ運転工 V2110 常時排水 管路部	1	日			施工 第0 -0015号表 特単単価適用日：07年06月15日
特殊作業員 [0.769]	0.07	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.05	人			R0030
潜水ポンプ φ 100mm	1	日			W0004
雑材料	4	%			#01
*** 単位当たり ***	1	日			

ポンプ運転工 据付・撤去工 SG081	1	現場			施工 第0 -0016号表
普通作業員 [0.828]	0.080	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 6 6					

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0027

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート管撤去工 V1201 φ 250	10	m			施工 第0 -0018号表 特単単価適用日：07年06月15日
土木一般世話役 [0.775]	0.13	人			R0010
普通作業員 [0.828]	0.13	人			R0030
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 2 8 m ³ (平積 0 . 2 m ³)	0.05	日			K9200
雑材料	1.0	%			#01
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0028

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管撤去工 V4602 硬質塩化ビニル管 φ150mm	10	m			施工 第0 -0019号表 特単単価適用日：07年06月15日
土木一般世話役 [0.775]	0.12	人			R0010
普通作業員 [0.828]	0.12	人			R0030
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 2 8 m ³ (平積 0 . 2 m ³)	0.05	日			K9200
雑材料	3.0	%			#01
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

頁0-0029

標準單價： 機械構成比： 勞務構成比： 材料構成比： 市場單價構成比：

000000000000	南 相 馬 市	金 抜 き
--------------	---------	-------

施工パッケージ内訳表

頁0-0030

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場発生品及び支給品運搬 SPA082 標準単価： 3,711.8 機械構成比： 13.58% 労務構成比： 83.54% 材料構成比： 2.88% 市場単価構成比： 0.00%	DID区間あり 13.58%		施工 第0 -0021号表 1	t
トラック [クレーン装置付] MA444		13.58%	トラック [クレーン装置付] TPMA444	
運転手 (特殊) R0120 [0.778]		42.54%	運転手 (特殊) TPR0120	
特殊作業員 R0020 [0.769]		41.00%	特殊作業員 TPR0020	
軽油 T0250 ミニローリー (パトロール給油)		2.88%	軽油 TPT0250 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 B=2 DID区間あり C=7 7.0km以下 D=1 土木工事標準積算基準 - 2 - 4				

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0031

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 673.26 機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00%	15cm以下		施工 第0 -0022号表 1	m
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 4 5 c m (1 8 インチ)		23.29%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ (4 5 c m)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 1				

000000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0032

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 S5200 運搬距離 6.9km	100	m3			施工 第0 -0023号表
普通作業員 [0.828]	9.259	人			R0030 100/10.8
側溝清掃車運転 機 - 1 9 フロワ式 9 . 0 m 3	9.259	日			SK921 100/10.8 施工 第0-0024号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=6.9 運搬距離 (km) C=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2					

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0033

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運転 SK921 機 - 1 9 ブロワ式 9 . 0 m 3	1	日			施工 第0 -0024号表
運転手 (一般) [0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	84.000	L			T0250
側溝清掃車 [ブロワ式]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 ブロワ式 9 . 0 m 3 B=1 運転労務数量 C=84 燃料消費量 D=1 機械損料数量					

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0034

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 SPD311 アスファルト舗装版 標準単価： 207.06 機械構成比： 13.49% 労務構成比： 80.49% 材料構成比： 6.02% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0025号表 1	m2
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 KQ049		13.49%	バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 TPKQ049	
土木一般世話役 [0.775] R0010		28.91%	土木一般世話役 TPR0010	
運転手 (特殊) [0.778] R0120		27.69%	運転手 (特殊) TPR0120	
普通作業員 [0.828] R0030		23.89%	普通作業員 TPR0030	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		6.02%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 障害等なし C=1 騒音振動対策不要 D=1 15cm以下 F=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 - 3 - 2				

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0035

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤 (歩道部) SPD006 全仕上り厚100mm 標準単価： 784.89 機械構成比： 5.62% 労務構成比： 72.88% 材料構成比： 21.50% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0026号表 1	m2
K9220 小型バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 1 1 m3 (平積 0 . 0 8 m3)		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [クローラ型] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパインド型) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンパインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		26.32%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8454 再生骨材 (骨材) クラッシャラン R C - 4 0		19.41%	TPT8454 再生クラッシャラン R C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		2.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=100 全仕上り厚(mm) B=1 1層施工 D=2 再生クラッシャラン R C - 4 0 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 5				

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0036

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層 (歩道部) SPD027 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,113.4 機械構成比： 0.48% 労務構成比： 52.13% 材料構成比： 47.39% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚30mm		施工 第0 -0027号表 1	m2
MC246 振動ローラ [舗装用・ハンドガイド式]		0.32%	TPMC246 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]	
MC274 振動コンパクタ [前進型]		0.09%	TPMC274 振動コンパクタ [前進型]	
R0020 特殊作業員 [0.769]		20.27%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		18.09%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		5.46%	TPR0010 土木一般世話役	
T8430 再生材アスファルト合材 細粒度 (1 3) 最大粒径 1 3 mm		45.11%	TPT8420 再生アスファルト混合物 密粒度 (1 3)	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 ブライム用、P K - 4 タック用		2.09%	TPT0212 アスファルト乳剤 P K - 4 タックコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.11%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.05%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0037

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=1 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) C=1 2.20t/m3 D=1 タグコート E=10 再生 細粒度(13)				
F=1 全ての費用 G=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 8				
*****	*****	*****	*****	*****
殻運搬 SPA961 舗装版破碎 標準単価： 2,839.5 機械構成比： 44.95% 労務構成比： 38.97% 材料構成比： 16.08% 市場単価構成比： 0.00%	機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)		施工 第0-0028号表 1	m3
MA404 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]		44.95%	TPMA404 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手(一般) [0.793]		38.97%	TPR0130 運転手(一般)	
T0250 軽油 ミニローリー(パトロール給油)		16.08%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 舗装版破碎 B=3 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) C=2 DID区間あり D=16 6.0km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - 25 - 1				

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0038

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
不陸整正 SPD001 補足材料なし 標準単価： 124.5 機械構成比： 23.12% 労務構成比： 68.86% 材料構成比： 8.02% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0029号表 1 m2	
モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 次 MC219		11.29%	モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 次 TPMC219	
ロードローラ [マカダム] 排ガス 2 次 MC230		8.94%	ロードローラ [マカダム] 排ガス 2 次 TPMC230	
タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t K2630		2.89%	タイヤローラ賃料 TPK2630	
運転手 (特殊) [0.778] R0120		44.09%	運転手 (特殊) TPR0120	
特殊作業員 [0.769] R0020		12.86%	特殊作業員 TPR0020	
普通作業員 [0.828] R0030		9.59%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.775] R0010		2.32%	土木一般世話役 TPR0010	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		8.02%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
* * * 単位当たり * * *				
A=1 補足材料なし E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 2				

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0039

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材の運搬費 S0070 運搬質量 12 t 運搬距離 (片道) 70km	1	式			施工 第0 -0030号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=70 運搬距離 (片道距離: km) B=1 製品長 1 2 m以内 C=12 運搬質量 (t) D=0 運賃割増率 (F 1 ~ F 2) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 6					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
仮設材等の積込み、取卸し費 S0072 積込み取卸し (往復分)	1	t			施工 第0 -0031号表
仮設材の積込み、取卸し費	1.000	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=4 積込み取卸し (往復分) B=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 7					

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0040

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高压洗浄車清掃工 V6004 φ 250mm以下 土砂深10%	413	m			施工 第0 -0032号表 特単単価適用日：07年06月15日
高压洗浄車運転 4t 210PS	1.0	日			V6000 施工 第0-0033号表
揚泥車運転 4t 210PS	1.0	日			V6001 施工 第0-0034号表
給水車運転 4t 210PS	1.0	日			V6003 施工 第0-0035号表
*** 合 計 ***	413	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

高压洗浄車運転 V6000 4t 210PS	1	日			施工 第0 -0033号表 特単単価適用日：07年06月15日
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	37.8	L			T0250
油脂類	20	%			#01
運転手（特殊） [0.778]	1.0	人			R0120
給水車損料 4t 210PS	6.0	h			W0002
*** 単位当たり ***	1	日			

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0041

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
揚泥車運転 V6001 4t 210PS	1	日			施工 第0 -0034号表 特単単価適用日：07年06月15日
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	37.0	L			T0250
特殊作業員 [0.769]	1.0	人			R0020
運転手（一般） [0.793]	1.0	人			R0130
揚泥車損料 4t 210PS	6.0	h			W0006
*** 単位当たり ***	1	日			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
給水車運転 V6003 4t 210PS	1	日			施工 第0 -0035号表 特単単価適用日：07年06月15日
軽油 ミニローリー（バトロール給油）	37.0	L			T0250
運転手（一般） [0.793]	1.0	人			R0130
給水車損料 4t 210PS	6.0	h			W0001
*** 単位当たり ***	1	日			

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0042

[illegible]

0000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0043

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
傾斜測定工 V0002 φ200以上φ800未満 下水道管路管理積算資料	100.0	m			施工 第0 -0037号表 特単単価適用日：07年06月15日
測量技師 (外業) [5 5 %]	1.0	人			R1020
測量技師補 (外業) [5 5 %]	1.0	人			R1030
測量助手 (外業) [5 5 %]	1.0	人			R1040
測量補助員 (外業) [6 5 %]	1.0	人			R1090
交通誘導警備員B [0.908]	1.0	人			R0900
運転手 (一般) [0.793]	1.0	人			R0130
本管テレビカメラ搭載車損料 直視側視式、小中口径管 建設機械損料表 (日本建設機械施工協会)	6.0	h			F0002
傾斜測定機損料 レーザー発振機、受光板	6.0	h			F0004
空気圧縮機損料 0.75kw	1.0	日			F0005
止水プラグマルチタイプ 円形管 φ200～400mm用	1.0	日			F0006
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0044

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
報告書作成工（傾斜測定工） V0003 φ200以上φ800未満 下水道管路管理積算資料	100.0	m			施工 第0 -0038号表 特単単価適用日：07年06月15日
測量主任技師（内業） [5 5 %]	1.0	人			R5010
測量技師 （内業） [5 5 %]	1.0	人			R5020
測量技師補 （内業） [5 5 %]	1.0	人			R5030
雑材料	1.0	%			#01
* * * 合 計 * * *	100	m			
* * * 単位当たり * * *	1	m			

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0045

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本管カメラ調査 V0001 φ200以上φ800未満 下水道管路管理積算資料	280.0	m			施工 第0 -0039号表 特単単価適用日：07年06月15日
測量技師 (外業) [5 5 %]	1.0	人			R1020
測量技師補 (外業) [5 5 %]	1.0	人			R1030
測量助手 (外業) [5 5 %]	1.0	人			R1040
交通誘導警備員B [0.908]	1.0	人			R0900
運転手 (一般) [0.793]	1.0	人			R0130
本管テレビカメラ搭載車損料 展開図化式、小中口径管 建設機械損料表 (日本建設機械施工協会)	6.0	h			F0003
*** 合 計 ***	280	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

00000000000

南 相 馬 市

金抜き

工事件名 原町区公共下水道污水管渠布設替(錦町一丁目地区)工事

[illegible]

スパン 番	掘削延長 土留延長 基礎延長	掘 運 土 量 (m3)	岩掘削 運土量 (m3)	埋 土 量 (m3)	改良土 埋戻し 土量 (m3)	砕 石 埋戻し 土量 (m3)	改良土の場合 (L=1.0mから クリスリーアンダー (市道)	管布設 延長 (m)	継手 減長 (m)	砂基礎 (m3)	基礎砕石 使用量 (m3)	管内径 (m)	継手数 (個)	管種別	掘削延長 土留延長 基礎延長	掘 運 土 量 (m3)	岩掘削 運土量 (m3)	埋 土 量 (m3)	改良土 埋戻し 土量 (m3)	砕 石 埋戻し 土量 (m3)	クリスリーアン ダー (市道)	管布設 延長 (m)	砂基礎 (m3)	梯子胴木 (m)	基礎砕石 (m3)	埋 設 表 シート (段)	埋 設 表 シート (m)						
															掘削延長 土留延長 基礎延長	掘 運 土 量 (m3)	岩掘削 運土量 (m3)	埋 土 量 (m3)	改良土 埋戻し 土量 (m3)	砕 石 埋戻し 土量 (m3)	クリスリーアン ダー (市道)	管布設 延長 (m)	砂基礎 (m3)	梯子胴木 (m)	基礎砕石 (m3)	埋 設 表 シート (段)	埋 設 表 シート (m)						
1	32.97	55.40		30.10		30.10		32.07		19.59		0.25	2	75																			
														100																			
														150																			
2	35.93	60.90		33.30		33.30		35.03		21.40		0.25	2	200																			
														250	68.90	116.30		63.40		63.40		67.10	40.99										
														300																			
														450																			
														600																			
														計	68.90	116.30		63.40		63.40		67.10	40.99										
														管種別ヤリトリ継手数										管種別継手減長									
														本管径	継手数	本管径	減長	布設延長															
														100		100																	
														150		150																	
														200		200																	
														250	4	250		67.10															
														300		300																	
														450		450																	
														600		600																	
														計	4	計			67.1														
														土留別	掘削延長 土留延長 基礎延長	掘 運 土 量 (m3)	岩掘削 運土量 (m3)	埋 土 量 (m3)	改良土 埋戻し 土量 (m3)	砕 石 埋戻し 土量 (m3)	クリスリーアン ダー (市道)	管布設 延長 (m)	砂基礎 (m3)	梯子胴木 (m)	基礎砕石 (m3)	埋 設 表 シート (段)	埋 設 表 シート (m)						
														1.5																			
														2.0	68.90	116.30		63.40		63.40		67.10	40.99										
														2.5																			
														3.0																			
														3.5																			
														4.0																			
														4.5																			
														5.0																			
														5.5																			
														6.0																			
														計	68.90	116.30		63.40		63.40		67.10	40.99										
														VP:1~9 VP変換継手:9*2																			
計	68.90	116.30		63.40		63.40		67.10		40.99			4																				

工事件名 原町区公共下水道污水管渠布設替(錦町一丁目地区)工事

■工事日数

スパン 番 号	建込簡易土留						損 料 算 定 日 数 (A)				損 料 算 定 日 数 (B)				損料算定日数(C)			
	土留延長 (m)	パネル長 (m)	使用BH (m3)				建込	既設管 撤去	掘 削	合 計	管布設	砂基礎	梯子胴木 基礎	合 計	埋 戻	引抜		合 計
1	32.97	2.0	0.28				0.66	0.37	0.94	1.97	0.74	0.59		1.33	0.35	0.40		0.75
2	35.93	2.0	0.28				0.72	0.40	1.03	2.15	0.81	0.65		1.46	0.39	0.43		0.82
合 計	68.90						1.38	0.77	1.97	4.12	1.55	1.24		2.79	0.74	0.83		1.57

		スパン数	A 日 数	B 日 数	C 日 数	30m当り	30m当り
		残延長	a 日 数	b 日 数	c 日 数	施行日数	供用日数
スパン数	各 日 数	2	1.794	1.215	0.684	3.69	5.17
端数延長	各 日 数	8.90	0.532	0.360	0.203		

水替日数(作業時排水) = A 日 数 / 2 + (基礎) + (管布設)
= 4.12 / 2 + 1.24 + 1.55 = 5 日

工事日数 = (A 日数 + B 日数) × スパン数 + C 日数
= (1.794 + 1.215) × 2 + 0.684
= 5.32 + 0.360 + 0.203 = 8 日

(全体供用日数) = 施行延長 / 30.0m × 30m当り供用日数
= 68.90 / 30.00 × 5.17 (= 12 日)

土留別 供用日数	パネル長	延長	スパン数	端数延長	損料算定 A日数	損料算定 B日数	損料算定 C日数	A日数	B日数	C日数	a日数	b日数	c日数	30m当り 施行日数	30m当り 供用日数	供用日数
	1.5															
	2.0	68.90	2	8.90	4.12	2.79	1.57	1.79	1.21	0.68	0.23	0.16	0.09	3.68	5.15	12
	2.5															
	3.0															
	3.5															
	4.0															
	4.5															
	5.0															
	5.5															
	6.0															
計		68.90		8.90	4.12	2.79	1.57	1.79	1.21	0.68	0.23	0.16	0.09			12

工事件名 原町区公共下水道污水管渠布設替(錦町一丁目地区)工事

■各種数量

入管 番号	延長	掘削幅	本管口径	取付管 復旧数	取付管 口径	取付管 復旧長	管路汚水 水管延長	宅内汚水 水管延長	現況 舗装厚	舗装切断 延長①	舗装剥取 面積①	舗装版 運搬②	舗装版 処分	下層 路盤厚	上層 路盤厚	仮 舗装厚	本舗装幅	本復旧 舗装厚	舗装切断 延長②	舗装剥取 面積②	舗装版 運搬②	舗装版 処分	不陸・本 舗装面積
	m	m	m	箇所	m	m	m	m	m	m	m ²	m ³	t	m	m	m	m	m	m	m ²	m ³	t	m ²
1	32.97	1.00	0.25	2	0.15	1.000	32.97	32.97	0.03	65.94	32.97	0.99	2.33	0.10		0.03	2.7	0.03	2.70	89.02	2.67	6.28	89.02
2	35.93	1.00	0.25	1	0.15	0.500	35.93	17.97	0.03	71.86	35.93	1.08	2.54	0.10		0.03	2.7	0.03	2.70	97.01	2.91	6.84	97.01
計	68.90			3		1.500	68.90	50.94		137.80	68.90	2.07	4.87				5.40		5.40	186.03	5.58	13.12	186.03

取付管口径別延長(掘削幅内)

φ 100	
φ 150	1.5
φ 200	
計	1.5

取付管口径別ヤリトリ継手数

φ 100	
φ 150	3
φ 200	
計	3

W=1.4未満

W=1.4～3.0

W=3.0～

186.0

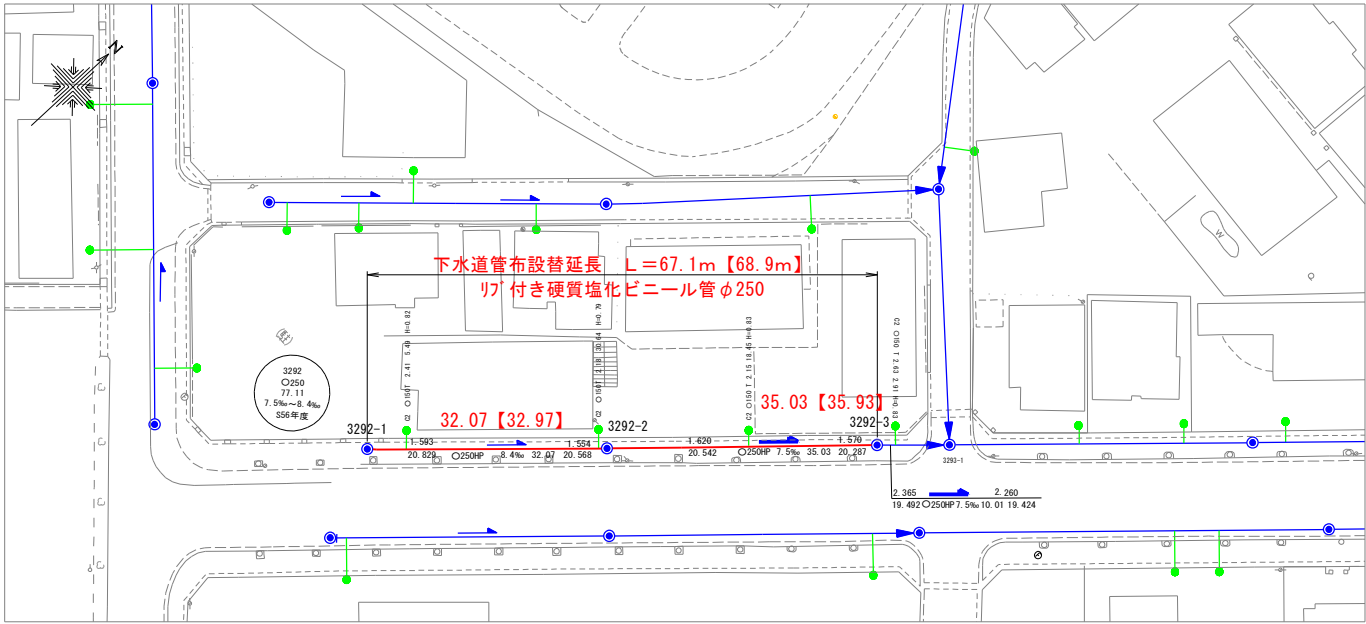
186.0

本管口径別支管数

φ 100	
φ 150	
φ 200	
φ 250	3
φ 300	
φ 450	
φ 600	
計	3

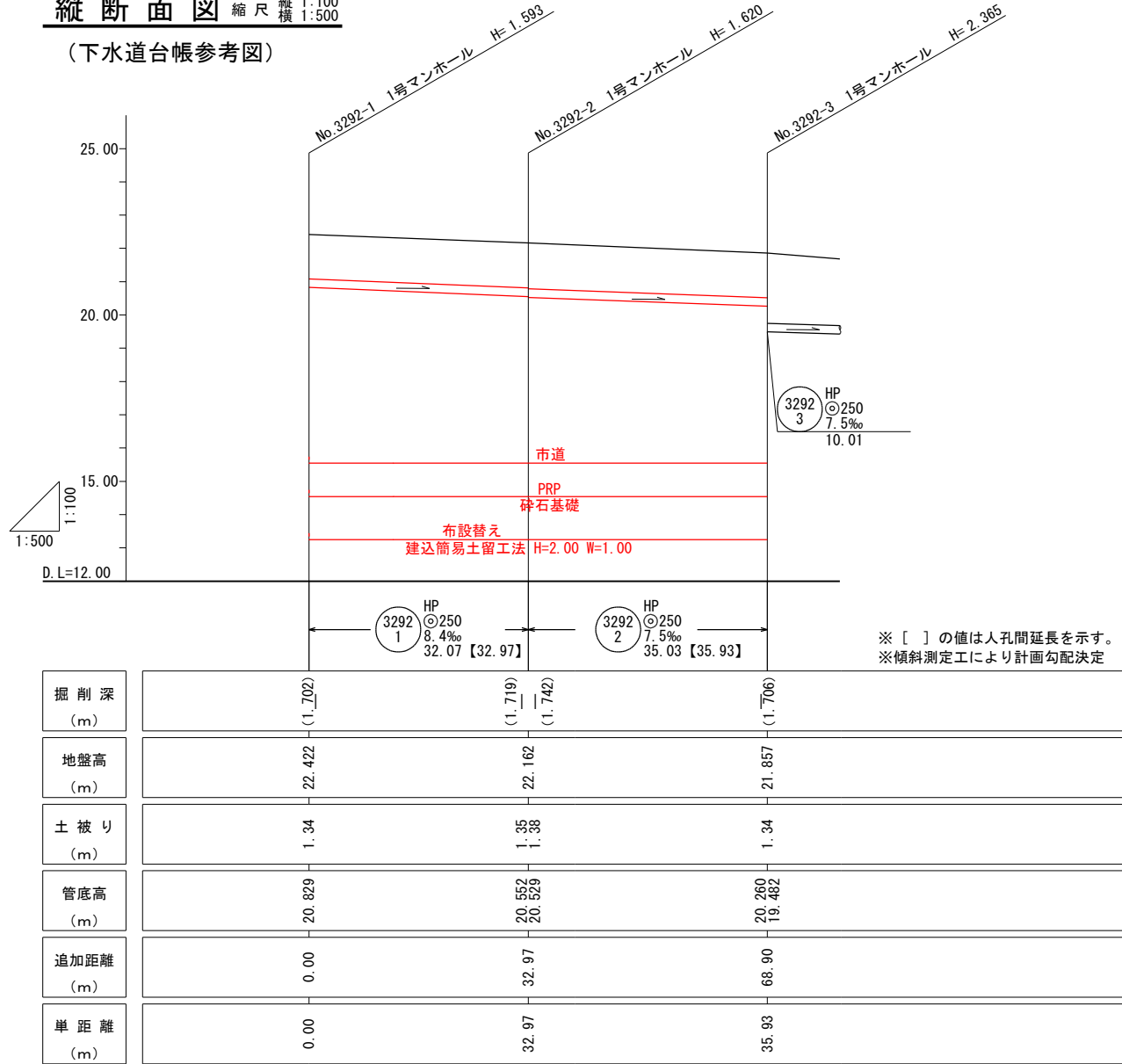
[illegible]

平面図 縮尺1:500



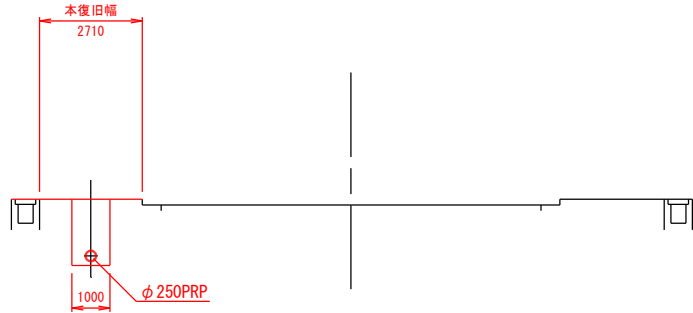
縦断面図 縮尺 縦1:100 横1:500

(下水道台帳参考図)

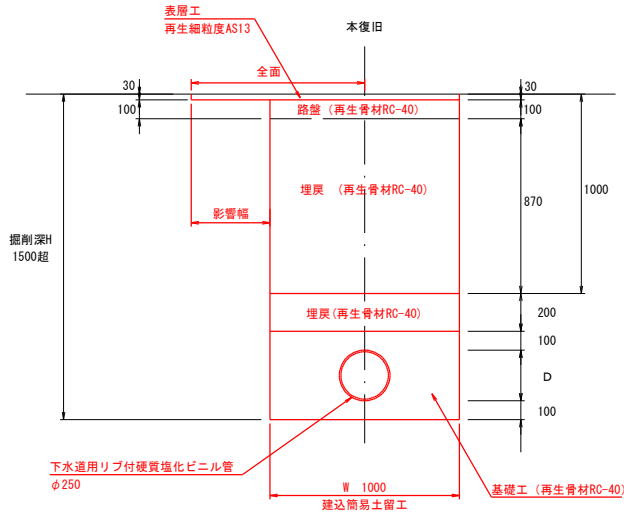


※ [] の値は人孔間延長を示す。
※傾斜測定工により計画勾配決定

標準断面図 縮尺1:100



[市道歩道]



工 法	～φ250mm
オープン掘削 B	0.60m
建込簡易土留工 B'	0.90m

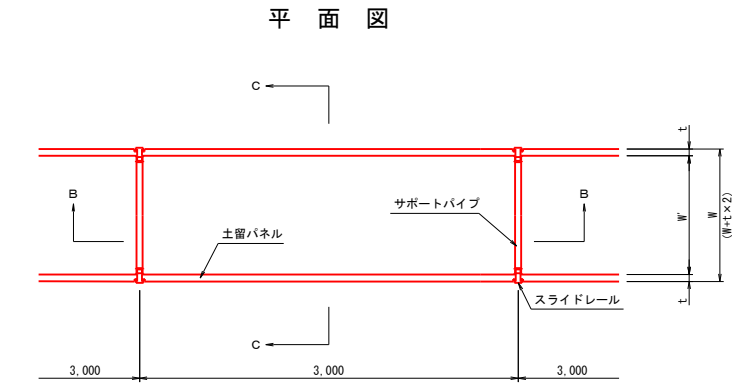
掘削深範囲	工 法	使用機種	矢板厚 t	法勾配	掘 削 幅		舗装復旧幅	
					底幅 B	上 幅	仮復旧	本 復 旧
0.00～1.50	オープン工法	BH 0.35	—	1:0.3	B+t 0.60	底幅+{(1:0.3)×2}	掘削上幅	掘削上幅+影響幅
1.51～3.50	建込簡易土留工	BH 0.35	0.055	—	B'+2t 1.00	B'+2t 1.00	B'+2t 1.00	掘削上幅+影響幅
3.51～4.00	建込簡易土留工	BH 0.35	0.105	—	B'+2t 1.10	B'+2t 1.10	B'+2t 1.10	掘削上幅+影響幅
4.01～6.00	建込簡易土留工	BH 0.60	0.105	—	1.00+0.15+2t 1.35	1.00+0.15+2t 1.35	1.00+0.15+2t 1.35	掘削上幅+影響幅

管 路 番 号

3292

令和 7 年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区錦町一丁目 地内			
原町区公共下水道汚水管渠布設替（錦町一丁目地区）工事			
平面図・縦断面図・標準断面図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	1 / 2
測 量		主 任 技 術 者	
設 計		管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			

簡易建込土留工標準図 S=1:30



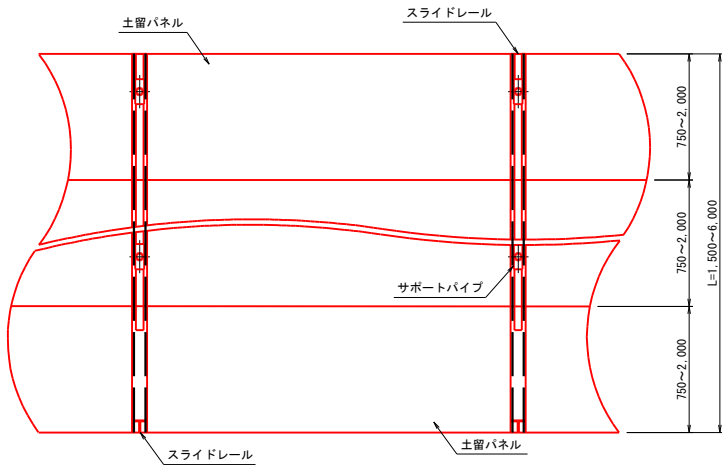
掘削深 H (m)	矢板長 L (m)	矢板厚 t (cm)	工 法
～1.50m			オープン
1.51～2.00m	2.00	5.50	建込簡易土留
2.01～2.50m	2.50	〃	〃
2.51～3.00m	3.00	〃	〃
3.01～3.50m	3.50	〃	〃
3.51～4.00m	4.00	10.50	〃
4.01～4.50m	4.50	〃	〃
4.51～5.00m	5.00	〃	〃
5.01～5.50m	5.50	〃	〃
5.51～6.00m	6.00	〃	〃

※鋼矢板仮設の場合は、開削仮設工図に従う。

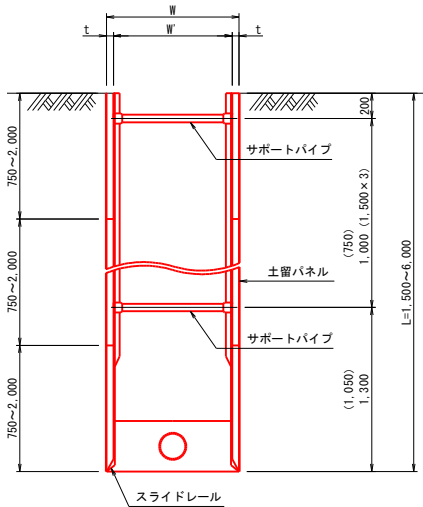
管種別作業幅・掘削幅 (H≧1.51m)		
管 種・径	矢板廻りの作業幅 W	掘削幅 W = W + (t × 2)
VUφ100～250mm	900mm	1000mm (H≦3.50m)
		1100mm (H≦4.00m)
	1000+150 mm	1350mm (H>4.00m)

※鋼矢板仮設の場合は、開削仮設工図に従う。

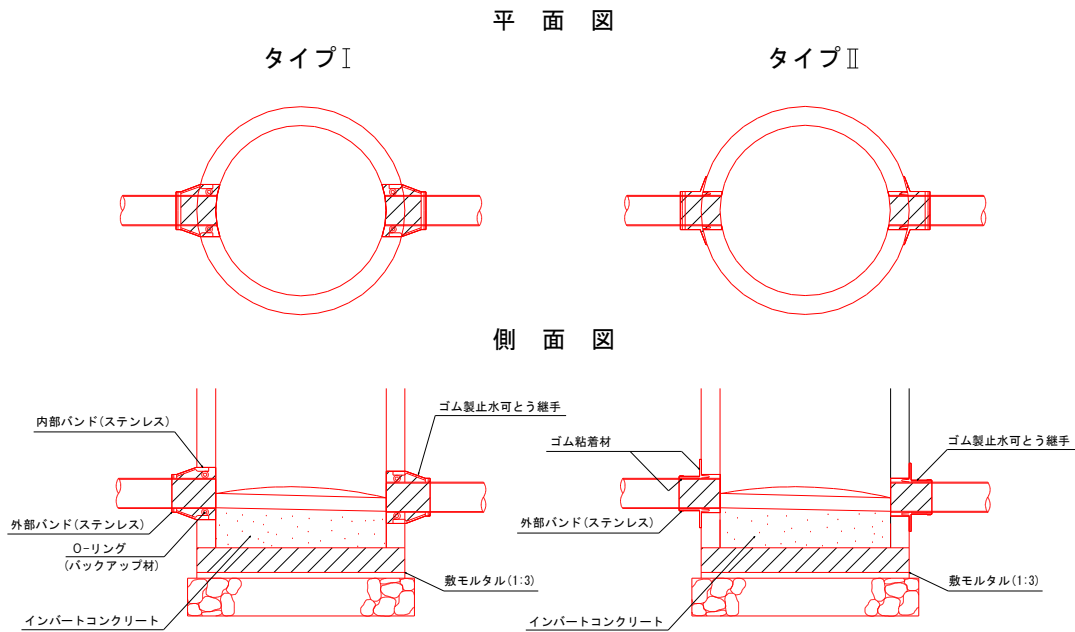
B - B 断面図



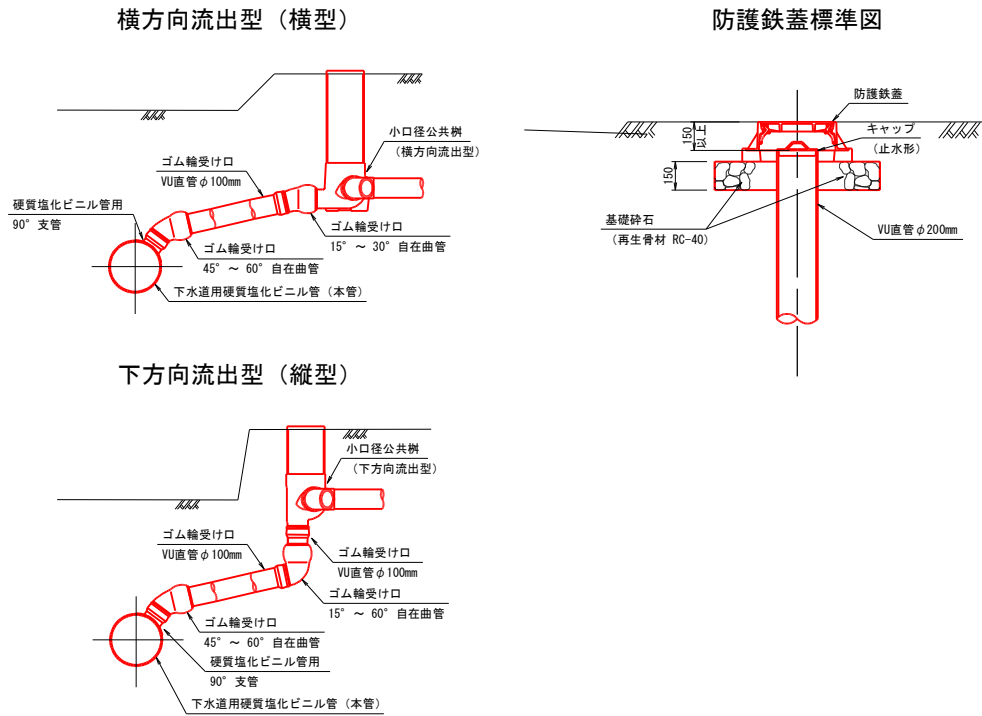
C - C 断面図



マンホール可とう継手（ゴム製）標準図 S=1:20



取付管布設標準図 S=1:20



令和 7 年度 工事番号 第 号			
南相馬市原町区錦町一丁目 地内			
原町区公共下水道汚水管渠布設替（錦町一丁目地区）工事			
各種構造標準図			
縮 尺	図 示	図 面 番 号	2 / 2
測 量		主 任 技 術 者	
設 計		管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			